

Y09b 宇宙を表現するイベント「cosmos01」実施報告 ～芸術的アプローチによる試み～

有本 淳一(京都市立塔南高校)、嶺重 慎(京大・基礎研)、小林 正和(京大・理)、内藤 忍、林 智恵(京教大)、「黄華堂」メンバー

2004年5月に結成された天文教育ボランティアグループ「黄華堂」は地域の生涯学習施設やPTAなどからの依頼による天文教室や天体観望会を中心に、青少年のための科学の祭典などのイベントへの出展という子ども向けの活動を続けてきた。その一方で各地で展開されているサイエンスカフェのような文化として天文をとらえていく大人向けのイベントを企画する構想を温めてきた。このような中で、昨年秋に京都・東山の法然院で芸術的なアプローチによる宇宙を表現するイベント「cosmos01」を実施した。このイベントについて報告する。

「cosmos01」は2006年11月25日に実施し、参加者総数は63名であった。「cosmos」という言葉をテーマに写真、書道、音楽、科学という表現手段を使って、宇宙を表現した。また、「cosmos」という言葉から、隠れたキーワードとして、「調和」という言葉を設定し、表現者相互と法然院という空間、そして、共有する時間を調和させるという試みを行った。

本講演では、このイベントの企画からの経緯や当日のくわしい実施状況について報告するとともに、今後の展開や、第2回目にあたる「cosmos02」についての構想についても紹介するものである。